

の危険度等が危惧されています。

このため、県にもできる限り対策をお願いしていますが、財政上の課題と土砂処分場所等の問題で、大きな成果は現時点ではいただけていません。ただ、雑草については、平成二十年度より定期的に除草しておりまして、今年度町が処分場を取得したところから、現在除草をしていただいています。今後はできるだけ早期に、町も残土処分場を用意し、再度県に土砂撤去の要望をしたいと考えています。道路や河川の適正管理は行政の大きな課題です。

産業建設課長

河川の護岸が洗掘されている箇所が多く見られるようになってきました。調査も含めて県に要望していきたいと思えます。現在県の事業により「いきいき健康モデル事業」ということで中央橋から牟岐橋の間において、河川環境を含めた事業を実施していただいております。地域住民との共

同での対応ということでも実施する予定になっていきます。

河川管理につきましても、河川のみで考えるのではなく、それぞれが持つ機能を生かして生態系、環境問題も含め、山、川、海と全体で捉

有害鳥獣対策と処理について

一山 稔 議員

有害鳥獣による被害が増大しており、電柵や捕獲檻

の設置、おさる一〇番、狐友会の協力で駆除を実施しているが、被害の減少は見られません。動物が町や住宅近くに出てくるのも山林に針葉樹が多くなり、野山に食べるものが少なくなつたことが原因だと思えますが、鳥獣が食べる実がなつたり、保水力のある樹木の植樹に対する考えを伺います。

被害防止計画を策定しているが、成果はどうか、検討すべき点があったのか。特殊なレーザー光線で獣

えて、住民の方々の意見等も踏まえ、今後の河川管理を考えていきます。

観音寺川の土砂撤去は、三月末には完成する予定です。

を追い払う設備での対策についての見解を伺います。

捕獲した動物の処理方法は、食肉として処理できないものを微生物資材、ほかし肥料やドックフードなどに再利用する、処理装置の導入に対する考えと見解を伺います。

狐友会も人手不足になつてきていますが、鳥獣駆除に対して今後の取り組み計画を伺います。

町長

鳥獣害対策は、農業に携わる方にとっては、大きな問題ですが、動物愛護団体

は、あまり殺して欲しくないという意見もあります。

対策は、捕獲やネット張り、電気柵の設置等で、捕獲数は増え、猪は激減していますが、鹿と狼は増加傾向にあるようです。

個人や地域の捕獲には限界があり、四国全域で危機意識を持って対処しないと効果がないこと、高齢化によるネットや電気柵の設置や維持管理の困難性、猟師の減少などがあります。

特殊なレーザー光線での撃退ですが、一長一短があ

り、費用対効果の最も高い最善の方法を模索し、導入したい。

食肉として利用できないものは、埋設処理をしております。現時点では問題は起こっていないが、環境汚染、衛生面での問題も考えられるので、今後、鳥獣処理装置などの導入を含め、総合的に最適な方法を模索していきたい。

産業建設課長

鳥獣対策として捕獲や追い払い、電気柵材料等への



イノシシの捕獲檻